



令和5年度の事故概況がまとまりました。
昨年度の事故の傾向を知って、しっかり対策を立て、
事故ゼロ＝安全就業＝を目指しましょう。

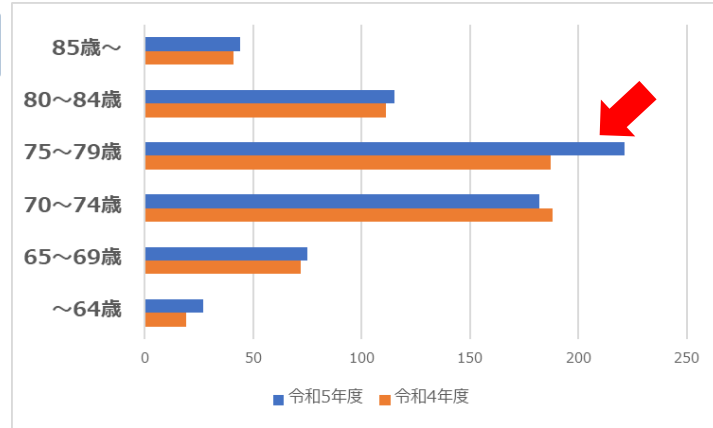
令和6年6月（通算第138号）
発行：
公益財団法人東京しごと財団
（東京都シルバー人材センター連合）

＝令和5年度事故概況より＝ 令和5年度の傷害事故件数は過去10年間の ワースト1位の結果に

75～79歳の事故が大幅増加

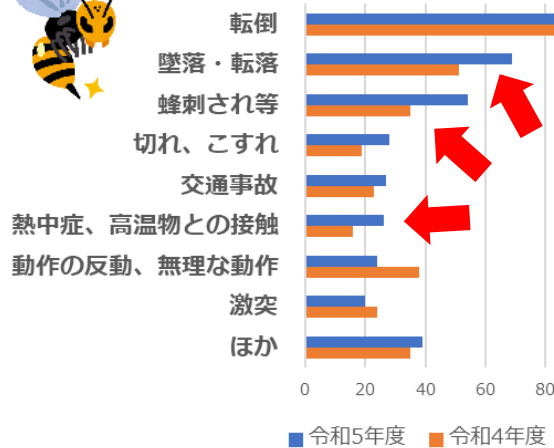
令和5年度のシルバー保険対象の傷害事故は664件（前年度比で7.4%、46件増）と過去10年間でワースト1の発生件数となりました。
中でも75～79歳の事故が34件増加しました。

年齢別傷害事故件数



猛暑の影響で熱中症と蜂刺されが増加

- 熱中症、高温物との接触が10件増加（特異発生は7～8月）
- 就業中の蜂刺され等が19件増加。昨年度の猛暑により発生時期が夏季に集中せず、6～11月の半年間に発生



墜落・転落が18件増加、重篤事故も発生

- 墜落、転落事故の増加も、暑さの影響による会員の体調不良や新型コロナウイルス後に就業再開した会員の体力低下に起因したことが考えられます。



今年も猛暑予想！熱中症対策をお願いします

熱中症予防のポイント

- 適切なエアコンの使用
- こまめな水分、塩分補給
- 涼しい服装・日傘・帽子の使用
- 熱中症警戒アラートや天気予報などで暑さ指数をチェック
- アラート発表時は、外出はできるだけ控えましょう（東京都環境局ホームページより）

